

全天候形水性反応硬化型下地調整材

アレスダイナミックフィラー

系 統 水性微弾性下地調整材

適用規格 JIS A 6909 可とう形改修塗材E 主材

ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆

特 長

- 1) 湿潤面適性を有します。強化剤を用いることで、濡れた状態の被塗面(湿潤面)に対しても強い付着力を有します。
- 2) 外装用水性塗料全般が塗装できます。
- 3) 塗装作業性が優れており、ローラー及び多孔質ローラーで塗装できます。
- 4) 晴天時は主剤のみでも微弾性フィラーとして使用できます。
- 5) 各種下地塗膜へ幅広い適性を有します。
- 6) 長期耐久性が優れています。
- 7) 充填性が優れています。

塗装条件

塗装方法	ローラー	多孔質ローラー			
希 釈 率	5~10%	1~5%			
標準所要量 (kg/m ² /回)	0.3~0.5	0.8~1.5			
希 釈 剤	上 水				

注) 標準所要量は、個々の条件によって異なります。標準所要量は、塗装作業に必要な使用量の数値です。

塗装間隔

項 目		温 度	23°C	
標準塗装間隔	最 短		8 時間	
	最 長		7 日	
使用時 限			2時間*	

*強化剤使用時(主剤のみで用いる場合は使用時限はありません)。

塗料性状

項 目	内 容
1 荷 姿	ベース: 16kg 強化剤 0.08kg
2 混 合 比	主材のみ(晴天時)、主材/強化剤=100/0.5
3 色	白
4 つ や	つや消し
5 仕 上 が り 感	平滑、さざ波状
6 塗 料 比 重	1.62
7 溶 剤 比 重	1.0(上 水)
8 加 熱 残 分	74%
9 劇 物 表 示 (品名・含有量)	—
10 労 働 法 上 の 表 示 有 害 物	—
11 有 機 則 / 特 化 則	ベース: — 強化剤 —
12 消 防 法 に よ る 危 険 物 区 分	ベース: 非危険物 強化剤 第4類 第3石油類(非水溶性)
13 硬 化 剤 の 成 分 に よ る 区 分	イソシアネート

主な適用素材

コンクリート、モルタル、ALC板

主な適用下塗塗料

エコカチオンシーラー、水性エポレジン、エポMシーラー、浸透形Mシーラー、マルチタイルコンクリートプライマーEPO 等

主な適用中塗塗料

アレスダイナミックMUKI中塗

主な適用上塗塗料

アレスダイナミックTOP、アレスダイナミックMUKI、コスモシリコン、アレスアクアシリコンACⅡ、アレスアクアセラシリコン、アレス水性ナノトップU、シリコンテックス、アレスアクアビルド、セラMレタン、コスモマイルドシリコンⅡ、セラMシリコンⅢ、セラMフッソ 等

使用上の注意事項

- 1) 強化剤は、主剤との結合が早い(使用時限が短い)ため、塗料の作り置きはせず、使用時に都度、調整して下さい。
 - 2) ホットライフが過ぎた塗料は使用しないで下さい。
 - 3) 本品は小雨時でも養生ネット内で作業できることを想定しています。ネット無しの環境は避けてください。
 - 4) 本品は、塗替用微弾性フィラーです。新設素材面や旧塗膜の吸い込みが著しい場合には、必ず適性なシーラーを塗装して下さい。
 - 5) 低温時(5°C以下)、多湿時(85%以上)での塗装は避けてください。
 - 6) モルタル・コンクリート素地のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケツ科学社製(H-2))または5%以下(ケツ科学社製HI-500シリーズ:コンクリート)
 - 7) レンジまで乾燥させた後、適切な下塗りを塗装後に本品を塗装して下さい。
 - 8) 塗装前には漏水処理、クラック処理を行なってください。
 - 9) 旧塗膜のチョーキング層は高圧水洗などで除去してください。
 - 10) 旧塗膜の浮きは電動サンダーなどで除去してください。目違い、段差などは樹脂モルタルなどで補修してください。
 - 11) (補修後はシーラーを塗装してください。)
- その他、塗料の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細についてはSDS(安全データシート)を参照して下さい。

注) 上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。

※本製品説明書の内容には、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。